

公立高校入試情報 和歌山県

【数学】

令和6年度和歌山県入試の全体傾向

- 大問数は4問、小問数は26問で例年通り。
- 大問1は、基本問題を中心とした小問集合、大問2は、記述問題を含む各分野の小問集合、大問3は、関数のグラフと図形の融合問題、大問4は、証明を含む図形の総合問題が出題された。
- 大問2では、1次関数の利用、連立方程式の利用(過程も書く)、箱ひげ図、確率、文字式による説明が出題された。
- 例年完全記述の証明問題もあり、今年は3点が一直線上にあることの証明が出た。正確な記述力が必要である。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

- ・相似や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

■ 証明問題の出題

- ・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

★和歌山県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●		●	
		方程式				
		比例と反比例	●	●		●
		平面図形	●			●
		空間図形	●	●	●	
		データの分析と活用	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●		●
		三角形	●	●	●	
		平行四辺形	●	●	●	
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●		●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査		●		
出題形式別の傾向	大問数		5	4	4	4
	小問数		28	29	26	26
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	1	1	1
		立式・解法の過程の記述	1	1	1	1
		作図(図形)				
		作図(グラフ)				